



馬術



馬術競技(個人競技)

- 馬術競技は障害飛越競技で行われ、**12障害**からなる長さ **400 – 450m** のコースで行われる。
- **2つの連続障害(ダブル)**と**3つの連続障害(トリプル)**のコンビネーション障害がそれぞれ1つ含まれる**全15飛越**で行われる。
- 2500m²以上の競技場でのスピードは **375m/分**である。
2500m²以下の競技場でのスピードは **350m/分**である。
- **最低5つの障害**は競技レベルに決められた**最高の高さ**の障害とする。(120 senior, 110 Junior, U-19 100)
- 障害の高さは使用する馬匹の能力水準に合わせて設定されなければならない。

馬匹の提供

- * 個人競技およびチーム競技では、馬匹の状況に応じて、LOCは1名、2名、3名又は4名の選手に対して1頭の馬匹が提供される。すべてのケースにおいて、LOCは**最終ラウンドの5名に対して1頭の予備馬**を準備しなければならない。
- * 全ての公式UIPMカテゴリーA競技では、LOCは各ライディンググラウンドの**選手数と同数の馬匹**を競技会に提供しなければならない。
- * カテゴリー「B」または「C」の競技会において、**4名**の選手に対して**1頭**の馬匹が提供された場合、その競技が個人でもチームでも、**1日2ラウンドの連続2日間**で競技編成を行わなければならない。

リレー競技の馬術

- * 2人の選手と2頭の馬匹でのリレー競技は、1ラウンド、2ラウンド又は3ラウンドで組織されています。
- * カテゴリーAのリレー競技会では、コンビネーションなしの8障害で、2 x 260-300mのコースで実施される。



騎乗許可

- 国際ライセンス保持している選手で、各国協会がUIPMに対して乗馬能力を書面で保証されていない選手は、馬術競技をすることはできない。
- 騎乗許可の明確化
- 騎乗許可のない選手（又は各国協会からの騎乗能力を保証する手紙がない者）は、シニア及びジュニア世界選手権、ワールドカップファイナル大会では競技することができない。
- 騎乗許可のない選手はワールドカップ大会の予選競技には参加することができるが、もし決勝の資格を得た場合は、同じグループの次の順位の選手に譲られる。
- 資格を必要としない他の全ての競技会では、選手は馬術以外の全ての競技を行うことができる。

競技準備とスケジュール



＊コースはアリーナ等に設置し、選手はスタートラインを通過した後、フィニッシュラインに至るまで経路に従って走行しなければならない。

＊距離は、特にターンでは、馬が走行すべき通常のラインを考慮に入れ、最短距離を正確に測定しなければならない。この測定線は、各障害物の中央を通過しなければならない

競技準備とスケジュール

- 全てのUIPM公式カテゴリーA及びBの競技会において、**UIPM TD/NTD** 馬術競技開催の少なくとも**1日前**に、馬術会場で**経路**と**馬匹**を点検して、条件が守られていることを**確認**しなければならない。
- **馬匹の公式検査**は、競技会の馬術競技場で、**飛越テスト**の形で行われる。
- 馬匹は、**事前の検査**を受けることなしに馬術競技を行うことはできない。

ジャンプテスト重要な考慮事項

- ジャンプテストは本競技のように構成されなければならない。
- すべての関係する審判員：
 - 馬術ディレクター
 - 審判長
 - セクレタリー(記録)
 - 計時員
 - アナウンサー
 - コースビルダーとコースビルダー補助員
 - スターター
- * それぞれの持ち場にいないといけない。
- ジャンプテストの前に、コーチはテストされる全ての馬匹のリストに特徴が記載されているシートを配布しなければならない。

ジャンプテスト



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE

軽装で良い

18

馬装は、競技会で使用
されるものと同じでなけ
ればならない

飛越テストにおいて馬匹は全て、スタートナンバーが左前足の蹄に消えないペンキで書かれていなければならない。

観客席からも見えるように、頭絡にも同じ番号を取り付けなければならない。

この表示は競技会を通じて残されていなければならない。

18



飛越テストにおいて馬匹は全て、スタートナンバーが左前足の蹄に消えないペンキで書かれていなければならない。

ジャンプテストの結果

No.	Horse Name	Obstacle Identification															Time
		1a	1b	2a	2b	2c	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1	CAPRICHOSA																75
2	ESTRIBEIRA					RK									F		68
3	CAI BEIM																74
4	EL CID						F							R			70
5	WAGGA WAGGA				R												82
6	MANGOPLAH																70
7	JUNEE			F													75
8	GUMLY GUMLY				K												115
9	TUMUT																61
10	YARRANGOBILLY			R													66
11	GANMAIN																74
12	RIVERINA				RK												116
13	WALLA WALLA						F										84
14	COUBERTIN														R		74
15	SMOTH OPERATOR						K										78
16	GRONG GRONG		K														97
17	COOKARDINIA							K	K	K	K	K	K				75
18	BOW RIVER					K											94
19	WILIGOBUNG																85
20	COOLAMON						R										101
21	TUMBARUMBA				RK												88
22	KOCKIBITOO							F	F	F	F	F	F				99
23	WANTABADGERY					F											63

TH: 380 m TIME: 66 sec

Legend:

F = Fall; K= Knock down; R = Refusal; RK = Refusal with Knock down

馬匹リスト List of horses



競技に使用する馬匹と予備馬のリストは、馬匹の抽選開始の少なくとも1時間前には選手に配布されなければならない。合わせて飛越テストの結果(ゴールタイム、障害減点と場所の詳細)も配布する。

LOCが配布する馬匹リストには以下の内容を記載する:

- ・馬匹番号
- ・馬名
- ・性別
- ・年齢
- ・毛色
- ・体温
- ・その他の特徴
- ・馬装の特記事項
- ・マルタンガール
- ・その他

競技会と予備馬



- － 全ての公式UIPMカテゴリーA競技会では、1名または最大2名の選手ごとに1頭をLOCは準備しなければならない。
- － LOCは、最終ラウンドのために5名の選手に対して1頭の予備馬を準備しなければならない。
- － すなわち、18頭の使用馬と4頭の予備馬を意味する。

防護帽 Protective headgear

- * 全ての選手は、顎紐をしっかり絞めた防護帽を、ウォーミングアップ中も含めて騎乗中は常に着用しなければならない。
- * 選手が経路走行中に防護帽を紛失した場合、選手は馬を止めて防護帽を再度装着しない限り走行を続けてはならない。
- * 使用する全ての防護帽は、最新FEI国際基準の認証ホログラムマークがついていなければならない。



騎乗中の防護帽の紛失 4.4.11

- * いかなる理由であれ、選手が防護帽を紛失した場合、審判長はベルを鳴らし、選手は次の障害を飛越する前に止まらなければならない。
- * もし選手が止まらずに次の障害を飛越したら**失権**
- * この際、時計は停止される。
- * 選手は、続行する前に、紛失した防護帽を適切に（顎紐を顎にしっかり絞める）装着しなければならない。
- * もし選手が停止しない場合、審判長は再度ベルを鳴らし選手は**失権**となる。
- * 選手は、紛失した防護帽を場内役員から受け取ることは許されている。

獣医は以下を行う:

- * 抽選の前に、全ての馬匹が競技参加に適していることを書面で提示する。
- * 抽選手続きを支援し、馬匹の能力を保証する。
- * 競技会の間、ウォームアップエリアで怪我をしている馬匹が競技に入らないか、前段競技の後、跛行がないことを確認し、後段競技でも馬匹を使用できることを確認する。
- * もし跛行がある場合は直ちに **UIPM TD/NTO** に報告する。

馬術のラウンド及び試乗馬場の構成

- 一般に、前段と後段の間に休憩はない。
- しかしながら走行終了後、馬匹には前段終了後約**20分間**の休養を設ける必要がある。
- 個人競技において、選手は試乗馬場の**サイズによって考慮**する必要があるが、スタートは**2分間隔**が望ましい。最大でも3分間隔とする。
- リレー競技で、チームの使用馬が2頭の場合、チームのスタート間隔は3分である。
- 試乗馬場は2つ設置し、**飛越馬場のサイズは 30 X 40 m**必要である。

抽 選

フェンシングと水泳競技の後に、**暫定1位**の選手又はチームが**抽選**を行う。その抽選を基に全ての馬匹は**ホースリスト**に則って**全選手及びチーム**に割り当てられる。

2ラウンドで実施される競技会の場合、**上位50%**の選手が後段ラウンドに騎乗する。

スタート順と馬匹の設定

: 36名の場合

騎乗順	前段		後段
1st	36	+	18
2nd	35	+	17
17th	20	+	2
18th	19	+	1

奇数選手数時の馬匹の設定

- 選手35名の場合の設定例

＊ 前段に1名多く騎乗する

	前段	後段
1st	35	+ 騎乗者なし
2nd	34	+ 17
3rd	33	+ 16

リレー競技の抽選

2ラウンドで実施されるカテゴリーAのリレー競技:

チーム数: 16

1st 16 + 8

2nd 15 + 7

...

7th 10 + 2

8th 9 + 1

チーム代表は、リレーの開始前5分前までに、
チーム内の使用馬の決定を試乗審判員に
書面で通知する。



リレー競技では、競技会の成績に基づいて2頭のグループに分け、ホースリストを作成する。

馬匹の変更

- 前段において2落馬により失権した馬匹
- 騎乗した直後に跛行した場合
- 競技途中で失権
(前段で4回拒止、個人、リレー共に)
- 獣医とTDが判断した場合

フィニッシュラインは最後の障害物から6m～15mの位置に設置される。ラインの右側には全面赤色の旗、左側に全面白色の旗を設置しなければならない。

障害の最大サイズ

	シニア	ジュニア	その他
垂直障害	120	110	100
幅障害	120 x 150	110 x 130	100 x 120
オクサー	120 x 130	110 x 120	100 x 110

障害物はスポーツ的でなければならず、外国の選手に不愉快な驚きを与えるものではない。

障害は、全体の形や外観から人目を引き、多様で周囲に合うものでなければならない。その構成部分は、ほんのわずかな接触で落下してしまうほど軽くはなく、馬の転倒を引き起こすほど重くはない物でなければならない。

垂直障害



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE



障害の構造物が何であれ、全ての横木が水平に垂直に設置されているものを垂直障害という。その前に横木が置いてあったり、土手や溝があってはいけない。傾いた横木は垂直障害とは言わない。

Flag

—全面赤色の旗(両面)と全面白色の旗(両面)は、本馬場の経路の以下の詳細を示すために使われなければならない。:

- スタート;
- 障害の両サイドの限界;
- 回転義務地点;
- フィニッシュ;
- 試乗馬場の障害;

幅 障 害



幅障害とは、幅と高さの両方を必要とするように作られた障害である。

コンビネーション



ダブル又はトリプルのコンビネーションとは、2つ又は3つの複合障害のことで、その間の距離が最短7m、最長12mで、2回又は3回の連続飛越を必要とする。距離は着地側の障害の土台から次の障害の踏切側の土台までを測定する。



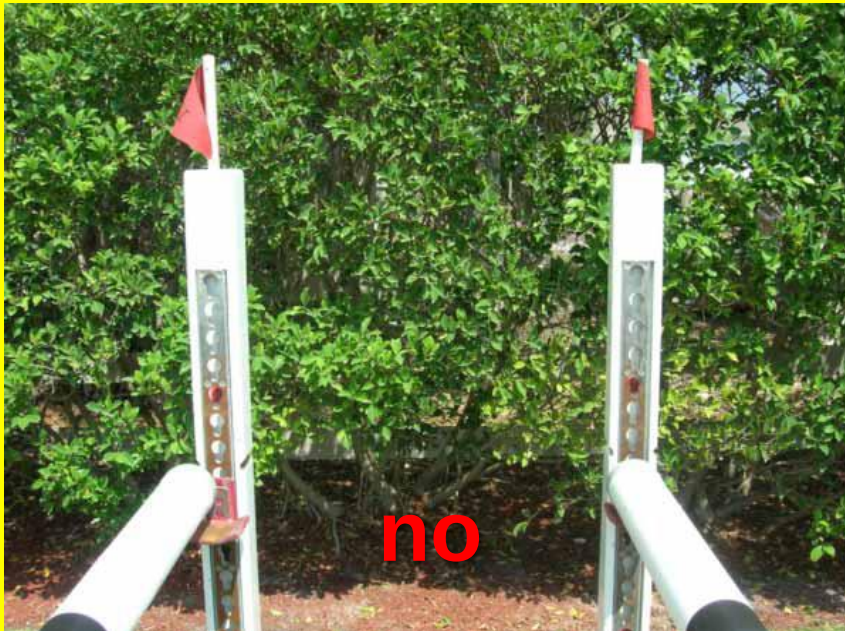
UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE

障害の 正解と間違い



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE







Horses are not permitted to walk over cross or slant poles; A slant pole is defined as a pole with one end resting on the ground and the other end higher than 30 cm.

馬は交差した横木や斜めの横木の上を通過することは許されていない。
斜めの横木とは、一端が地面に残り、他端が30cmより高い横木として定義される。



拍車



拍車の突起部は、外側の湾曲した部分から計測して30mm以内でなければならない。

鞭



鞭の最大の長さは**75cm**である。重りをつけたり、先を尖らせたり、縁を切ることは認められない。

試乗（ウォーミングアップ）審判

個人競技では、各選手は試乗馬場において飛越を5回行う権利がある。

試乗審判の任務:

- 1) 終了した飛越回数を記録する。
- 2) 全ての競技者に対し、飛越4回を終了した際には通告しなければならない。
- 3) 選手に本馬場入場口へ行かなければならないことを、十分な時間の余裕を見て誘導する。

試乗（リレー競技）

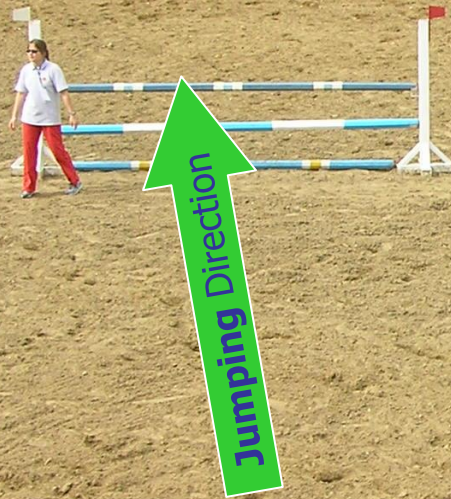
- * リレー競技において1チームに2頭の馬匹が割り当てられた場合、試乗馬場においてそれぞれの馬匹は5回の飛越が認められている。
- * 1チームに対し1頭の馬匹が割り当てられた場合、試乗馬場での飛越回数は2人合わせて5回である。
- * チーム代表は、試乗馬場内での馬匹の準備と各選手の飛越回数を決定する。

試乗馬場



- 試乗馬場には2種類の障害が設置され、**同じ方向**から飛越する様に設置しなければならない。
- 試乗馬場での障害の高さは**限度以上の高さ**にしてはならない。

試乗馬場



飛越方向



コーチは少なく
とも長ズボンを
着用する。

- 試乗馬場は2つに分割しておく必要がある。
 - 一つは約8分のフラットワークに
 - 一つは約12分の障害飛越に

試乗でのペナルティ

試乗審判員は、選手又は試乗馬場周辺のチームスタッフによって犯された違反行為について馬術ディレクターと審判長に直ちに書面で通知しなければならない

試乗馬場で許可された飛越回数を超えて飛越する度に - **10p**

試乗馬場で障害物を間違った方向に飛越する **失権**

本馬場、試乗馬場、又は近接した他の場所での拍車及び鞭等の点検を受けた後に、不正な拍車や鞭を使用すると、ペナルティが科せられる (**失格**)

鐘 THE BELL



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE



以下の指示はベルを用いる:

1. 選手がコース下見のために本馬場に入る
2. 競技を開始させる
3. 競技を停止させる
4. 競技を中断させた後に再開させる
5. 障害物の入れ替えを指示する
6. 選手に失権である事を知らせる
7. 失権はベルを長時間繰り返し鳴らして知らせる
8. 選手が停止の指示に従わない場合は失権となる
9. 競技中断の後、再開のベルの合図を待たずに障害を飛越した選手は、失権となる

スタート

競技が開始されたら、選手その他全ての人は徒歩で競技場に入ることはできない。もし、その様な人がいたならば審判長は競技を中断するためにベルを鳴らし、その人を競技場から退去させ、その後、審判長は競技の再開を指示しなければならない。

徒歩で本馬場の入退場を行う 又は 競技中に馬から降りる



もし選手が、騎乗せずに徒歩で競技場に入退場を行った場合は - 10ポイントの減点が科せられる。

選手は、馬から降りて競技場から退出することは許されず、選手や馬の負傷が原因の場合は以外は減点(-10)される。

リレー競技の引継ぎエリア



- リレー競技ではスタートラインの後方に、スタートを待つリレーチームが待機できる長さ20m、幅10m(最低)の待機ゾーンが必要である。
- 待機ゾーンは競技会場内の一角に設定する。
- 待機ゾーンは、はっきりとわかる様に表示する。

障害の落下

落下した障害物の一部が他の障害物の飛越に支障があると判断した場合は、ベルを鳴らし、時計も止めて競技を中断して、飛越に支障のある障害物を撤去する必要がある。

もし選手が適切に障害を飛越したにもかかわらず、障害構築の不備が原因で落下した場合は減点はされないが、飛越時に接触して落下させた場合は減点となる。



垂直障害の落下

Knock down an Obstacles upright obstacle



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE



障害物又は障害物の一部が複数の横木を上下に重ねて配置され、同じ垂直面(直立障害物)に配置されている場合、最上部の横木の落下のみがペナルティとなる。

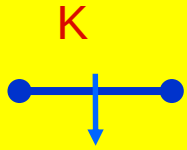


UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE

よくある

減点

飛越中に各要素が落下する 4.4.13

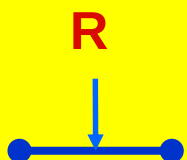


減 点: - 7

拒止 4.4.17



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE



- 10

拒止 + 落下

拒止 + 落下



減点 -10:

非常に重要な例：

この状況では、鐘を鳴らして計時タイマーを停止させる。競技場役員は障害物を再建し、その終わりに再び鐘を鳴らし、選手は20秒以内に当該障害の再飛越を試みなければならない。もし20秒経過しても再飛越を行わない場合は、20秒経過した時点から計時タイマーは自動的に再始動される。

または、障害物の再建終了の鐘の合図後、選手が当該障害を再飛越に向かい、飛越のために前足が踏み切る瞬間から計時タイマーを再始動する。

拒止 + 落下 + 落馬

R + K + F



減点 -20:

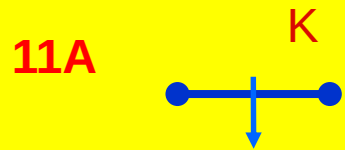
非常に重要な例：

この状況では、選手が再び騎乗するまでの間に、競技場役員が障害物の再建を終了した場合はタイムアウトはされないで鐘は鳴らされない。

選手が再騎乗した時点において、競技場役員による障害物の再建が終了していなかった場合は、鐘を鳴らして計時タイマーを停止させる。障害物の再建が終了した場合は再び鐘を鳴らし、選手は20秒以内に当該障害の再飛越を試みなければならない。もし20秒経過しても再飛越を行わない場合は、20秒経過した時点から計時タイマーは自動的に再始動される。

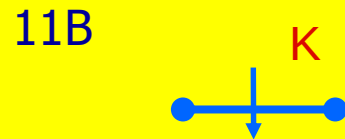
または、障害物の再建終了の鐘の合図後、選手が当該障害を再飛越に向かい、飛越のために前足が踏み切る瞬間から計時タイマーを再始動する。

複合障害での落下



例：落下

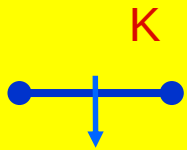
11A & 11B



減点: [-7 + -7] = -14

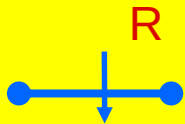
落下の次に拒止

11A



例：落下 11A & 拒止 11B

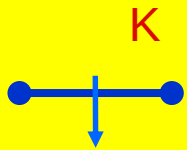
11B



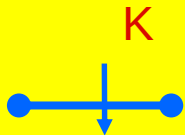
減点： [-7 + -10] = -17

複合障害での2つの落下と拒止

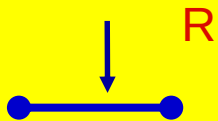
11A



11B



11 C



例：

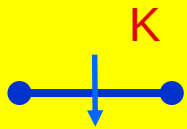
落下 11A+11B & 拒止 11C

The penalty are :

$$[\underline{-7 \quad -7 \quad -10}] = -24$$

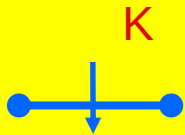
複合障害での2つの落下 + 拒止と落馬

11A



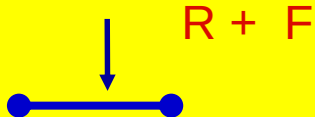
落下 11A+11B + 拒止と落馬 11C

11B



減点:

11 C

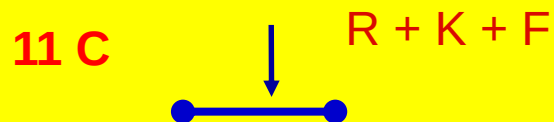
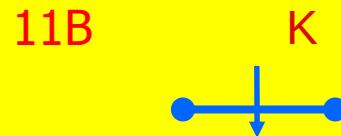
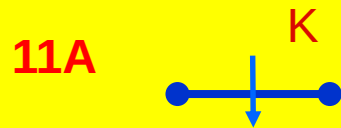


$$[- 7 \quad - 7 \quad - 20] = - 34$$

複合障害での3つの落下 + 拒止 と 落馬

落下 11A+11B +

落下・拒止・落馬 11C



減点:

$$[- 7 \quad - 7 \quad - 20] = - 34$$

不従順 Disobediences 4.4.15

それぞれの不従順は - 10 point:

- 拒止
- 逃避
- 反抗
- コース上で、いつ何時、理由が何であれ、巻乗りを行う
- 障害間で障害を飛越するために後戻りする

失 権

- ＊障害を間違った方向に飛越する。
- ＊ベルが鳴る前にスタート及び障害を飛越する。
- ＊スタートラインを通過せずに第1障害を飛越する。
- ＊落下された障害を組み直される前に飛越する。
- ＊同じ障害で2度の拒止又は逃避の後に飛越する。
- ＊選手又は馬が走行を終了する前に競技場から出る。
- ＊選手又は馬が競技を継続することができない。
- ＊2度目の落馬をする。
- ＊騎乗中に競技を中止する。
- ＊制限時間を超過する。
- ＊障害の経路及び順序や飛越方向を誤って飛越する。
- ＊競技場外に飛越する。
- ＊最初の拒止又は逃避の後、当該を障害の2度目の飛越を試みずに次の障害を飛越する。
- ＊フィニッシュラインを通過せずに本馬場を出る。
- ＊4回目の拒止及び逃避をする。
- ＊3回目の呼び出しでも本馬場に入場しない。
- ＊防護帽なしで試乗又は競技を続ける。
- ＊リレー競技で誤った引継ぎでのスタート（不正引き継ぎ）

拒止



UNION INTERNATIONALE
DE PENTATHLON MODERNE

馬が飛越しなければならない障害の前で停止した場合は、馬が障害を落下又は移動させたかどうかにかかわらず、拒止とみなす。

拒止の際の罰則

2回目の拒止の後、その障害を3回目に飛越しようとした場合は減点される。(-10)

2回目の拒止をした障害を3回目に飛越してしまった場合は失権となる。

累積4回の拒止及び逃避は失権となる。

拒止の際の罰則

- 最初の拒止 – 10 p.
- 2回目の拒止 – 10 p.
- 3回目以降の拒止 – 10 p. (毎回)
- 2回の拒止の後の飛越 **失権**
- 拒止の際に障害落下があり、復旧のためにベルが鳴らされ、復旧完了を知らせるベルの合図が鳴る前に障害を飛越する。**失権**

反抗

- もし馬が全身を拒んだり、停止したり、1回または数回にわたって反転したり、何らかの理由で後ろ足で立ったり、後退した場合は反抗である。



落馬

- * 騎乗者がいない馬が障害の飛越したり、旗門を間違った方向に通過したり、スタートラインやフィニッシュラインを通過しても減点は加算されない。
- * 騎乗者がいない馬が経路走行終了前に本馬場を出た場合は、騎乗者の競技は終了となり失権となる。
- * 競技者は2度目の落馬で失権となる。失権となった馬匹に割り当てられた第2ラウンドの選手は、予備馬に騎乗することを選択できる。

リレー競技での落馬

- リレー競技においては、そのチームの2度目の落馬で**失権**となる。
- 引継ぎゾーンにおいて騎乗者が落馬して、騎乗者がいなくなった馬が競技会場を出てしまった場合は、チームは**失権**となる。

違法な援助

- * 経路走行時の第3者による騎乗補助や馬匹の世話など肉体的な援助は、頼まれてか否かに拘わらず、防護帽やメガネの手渡しを除いては違法な援助とみなされ、減点される。
- * 口頭の助言は許可される。

最終結果

順位は、獲得ポイントで決定される。
もし同点の場合は、最適時間
(optimal time)で決定される。

「最適時間」とは、規定タイムに一番近いタイムを指す。

不適当な服装のペナルティ

減点 10points

個人競技、リレー競技
共に、選手が**正しい服装**をしていない場合は、
それぞれの違反に対して **-10 ポイント**の減点
が科せられる。



得点

規定時間内に走行を完走した場合、選手及びチームには**300点**が与えられる。全てのペナルティはこの得点から差し引かれる。

個人競技とリレー競技

規定タイム: T.A.

制限タイム: T.L.

計算式:

$$\frac{D \times 60}{S} = T.A. \times 2 = T.L.$$

D = コース全長

S = 速度

Infringement and penalty Appendix 4A

Each second that exceeds the time limit	4.6.2	-1 points
Each element knocked down while jumping	4.6.4 i)	-7 points

-10 Points

Contravening clothing regulations	4.6.3
Disobedience (each occasion)	4.6.4 ii)
Each disobedience leading to the knocked down of an element or flag defining an obstacle, the limit start line etc,	4.6.4 ii)
Each forbidden attempt of jumping the same element	4.6.4 ii)
Coach not informing the Relay start order	4.6.5
Exiting the Relay changeover zone out of turn	4.6.5
First fall of the pentathlete from the horse or both fall	4.6.6 vi)
Each occasion of jumping over the allowed number in W.Up arena	4.6.6 i)
Not stopping when the bell is rung during the round	4.6.6 ii)
All unauthorized assistance	4.6.6 iii)
Entering the arena on foot after the beginning of the event	4.6.6 iv)
Exiting the arena dismounted, except for injury of horse	4.6.6 v)
Incorrectly using the whip	4.6.6 vii)

Infringements and penalties p.2 Eliminations

Jumping an obstacles in the wrong direction	4.6.7 i)
Starting before the signal and/or jumping an obstacle before the start	4.6.7 ii)
Jumping the first obstacle without having crossed the start line	4.6.7 iii)
Jumping an obstacle which had been knocked down before it has been rebuilt	4.6.7 iv)
Jumping an obstacle without waiting for the bell	4.6.7 v)
Jumping an obstacle after two refusals on run-outs at the same obstacle	4.6.7 vi)
A pentathlete and/or horse leaving the arena before the end of the round	4.6.7 vii)
A pentathlete or horse being unable to continue the course	4.6.7 viii)
The second fall	4.6.7 ix)
A pentathlete retiring from the competition during the ride	4.6.7 x)
A pentathlete or team exceeding the time limit	4.6.7 xi)
Not following the plan of the course, not J. in prescribed order or omitting	4.6.7 xii)
Jumping out of the competition area	4.6.7 xiii)
After the first refusal, not attempting to jump the second time the next one	4.6.7 xiv)
Not crossing the finish line mounted before leaving the arena	4.6.7 xv)
After 4 refusals and/or run outs	4.6.7 xvi)
No entering the arena at the third call	4.6.7 xvii)
False start in the Relay Change-over	4.6.7 xix)
Continue the warm-up and the competition without headgear	4.6.7 xviii)

DISQUALIFICATION 4.6.8

Unsportsmanlike behaviour or contempt of officials	4.6.8 i)
Rapping a horse and all other cases of cruelty and/or ill treatment	4.6.8 ii)
Using an unauthorised whip or spurs or hat after the control in the arena, Warm-up arena or elsewhere in the proximity to the show ground	4.6.8 iii)
Inappropriate use of the whip 4.6.4	Warning * or - 10 points or Disqualification
* = only applicable before or after the course	



THANKS